

# 明日に向か へ

明日に向かって

多治見陶都ライオンズクラブ

広 報 誌

Vol.

17

2003年6月発行



2002.7~2003.6  
陶都ライオンズクラブ 会長

L.前田重宏

会員の皆様一年間心温まるご支援を頂きまして誠に有り難うございました。

## 『友愛と奉仕で守ろう陶都の風景』

このスローガンを掲げてきたこの一年を振り返りみますと“桜”で始まり“桜”で終わったような一年であったかと思ひます。また私自身、仕事でこの地域に関わりあって30数年、虎溪山は元より河川、山など「陶都の風景」として視点を改めて観ることが出来たのははじめてではなかったかと思ひます。そして、この“虎溪公園の桜再生”から多くの事を学ぶ事ができました。申すまでもなく、虎溪公園におけますこの事業は大変息の長い作業であり、ひとりでも多くの市民の力添えがなければ、後生に桜の里山を残してやる事が出来ません。私自身、今後桜再生には出来る限り縁の下から支えていくことが出来ればと思っております。いよいよ丹羽新体制が始まります。誠に御苦勞様ですが宜しくお願い致します。最後になりましたが、素晴らしい幹事さんに巡り合えた事に心から感謝申し上げます。高畑幹事さん一年間本当に有り難うございました。





2002.7~2003.6  
 陶都ライオンズクラブ 幹事  
 L.高畑博紀

## 幹事挨拶

手探りではじめた幹事職も、慌ただしいまま一年が過ぎ去り、「ようやく終わった」という安堵感と、「これでいいのか?」という不安感が入り交じった複雑な心境です。

厳しい社会環境の中で会員維持、会員増強のため、家族会費の値下げ、入会金値下げ等、会員の経済的負担を少しでも軽減する措置を講じました。

しかし、結果は退会者5名(新入会員2名)、例会出席率73.0%(メークアップ後は78.7%)と、厳しい結果について謙虚に受け止めなければなりません。

これは、長引く景気低迷の中で、経済的負担、時間的制約のみならず、“心のゆとり”がなくなった精神的負担が、「とても奉仕など…」の結果だと思えます。

したがって、会員の動向は、社会の流れの中で見守らざるを得ないのが実情ですが、“同じ志の信頼・叡智のきずなは、簡単に切ってはなりません”。

今、我々の仲間の中にも、大変苦しい中、ライオニズム高揚のため一生懸命頑張っているライオンズマンがいる事を決して忘れないで下さい。

## 公衆安全委員会

# 虎溪山の桜を再生しよう!

前田会長の「友愛と奉仕で守ろう!!陶都の風景を」のスローガンの下にはじまった今年、公衆安全委員会にとっては、大変有意義な年でありました。

会長の指導の下に「虎溪山の桜再生事業」を提案し、わがクラブだけでなく多治見L.C.

にもご協力をお願いし、市内のライオンズ、ロータリー、ソープチミストの皆様にもお集りいただき協議させていただきました。こうした多治見市内の社会奉仕、慈善団体が一同に会して、話し合いをしたことがはじめてのことでした。各団体の基本理念なども理解しあえて大変に有意義でした。このような準備を重ねて、11月6日には、セラミックパークMINO国際会議場で、16代目佐野藤右衛門氏をお招きして「日本のサクラ文化」について、ご講演をいただき、引き続き「虎溪山のサクラ再生計画について」と題してパネルディスカッションを開催、パネラーとして、多治見市長、国土交通省多治見事務所長などの参加をいただき、活発な討論がなされました。コーディネーターで

あった木村光伸名古屋学院大学教授のうまい議事進行により、大変盛り上がりました。

このような準備・検討を経て3月8日に虎溪山の下刈り作業をしました。日頃、山作業をしたことのない会員の皆さんがケガされないかと心配をしましたが、手つき腰つきもよく下刈り作業も無事終えることができました(来年度からの下刈り、草刈りも大丈夫です。)そして、4月6日に虎溪山に桜の木を植えました。この桜が、多治見の街を見守ってくれる大樹となることを心こめて植栽しました。当日も、多数の皆さんに来て頂き、盛大に行



2002.7~2003.6  
 公衆安全委員会 委員長  
 L.尾関恵一





うことができ、ここに前田会長のスローガンである「友愛と奉仕で守ろう！！陶都の風景を」を  
実践できた一日であったと思っています。しかし、これはほんの一步に過ぎませんこの  
活動は本年度だけでなく、10年20年を継続して行ってこそ意味のあるものです。次年度か  
らも皆様よろしくお祈りします。

本年度、当委員会が、ある程度の成果をあげる活動が出来たのは、長尾副委員長の絶大な  
尽力があったからであります。この場を借りて御礼を申し上げたいと思います。

虎溪山の桜を再生しよう！！

## 1年間を振り返って

環境問題作文コンクールを担当する委員長に内定した日に実際のところ、昨年以上の  
成果を上げる事ができるのだろうかと不安になりました。何故ならば昨年は、十周年と  
いうことで物凄く盛り上がっていたからです。六百余の作文 応募は、半端



2002.7~2003.6  
保健環境保全委員会 委員長  
L. 兼松伸一



でなく当委員会には、相当なプレッシャーでした。しかし、継続の成果か、  
教育委員会はもとより各学校関係者のご協力はうれしい限りで蓋を開けれ  
ば七百五十を超える応募があり、優秀作の選別に追われるほどでした。そ  
れも手違いによる笠原の応募がないにもかかわらずです。

今回、担当してみて、中学生の環境に関する意識の高揚が感じられ、将来に期待が持て  
る気が致しました。又、最終の委員会事業として、市内で禁煙運動をしてみえる水田先  
生にお願いし、「健康講話」を企画いたしました。日頃不摂生を極めていた会員諸兄に警  
鐘を鳴らしました。嫌味に感じた会員も多かったようですが、ご家族には、喜ばれたと  
自負しております。次年度は、会計でお世話になりますが、今年以上のご協力をお願い  
申し上げます。



2002.7~2003.6  
計画委員会 委員長

L. 渡辺 孝司

## 本年度の主な行事

- 8月4日(日) 長良川の鵜飼
- 12月20日(金) オースタットホテルにて忘年会
- 2月9日(日) 福井若狭のかわちでの会食 (美味!!)
- 4月6日(日) 修道院でのバーベキュー大会
- 6月20日(金) 【さよなら例会】マジックショー、歌謡ショー



## 新入会員紹介

ウォー  
ウォー



L. 田中直樹

今年度最終コーナーで入会させていただきました田中直樹でございます。

新富町に住まいをかまえ、家業は建物の雨漏り等を防ぐ防水工事業を営んでおります。

趣味といたしましては、へたくそではございますが、サッカー、野球等、見るのも行うのも好きです。又、音楽を聴く、演奏する、歌うなどただ好きの一通りでかじっているような気がいたします。(どれも人並まで至っておりません。) 陶都の中では42才と最年少になってしまった様です。右も左も解らないまま、先輩方のご指導の下、未体験ゾーンに突入しております。「田中ライオン」と呼ばれてもピンとこず、「ウォー」のかけ声も声が出ず、なじめないこ

とばかりでございます。ただこの世界に入り異業種の方、はじめてお会いする方々との出会いや活動を通じて自分にとって必ずプラスになると信じております。ライオンどころか、ネコのような自分にとっていつになったらライオンの仲間入りが出来るか解りませんが、ブリッショな方なので、時間がかかるとは思いますが、呼び名、かけ声等、自分にとって自然に聞こえ、自然にふるまえるまで、転ばない様、じっくりと頑張っていきたいと考えておりますので、皆様、宜しくお願い申し上げます。

### 編集後記

光陰矢のごとし。一年は早いものです。委員会事業は広報紙二回発行と計画、一回目は年最初の例会と上手にいったのですが、二回目はなかなか発行出来ず、事務局よりどうしますかの打診。最終例会にも間に合わず、皆さんに送付、すみませんでした。

我が委員会にも異色の人材がいました。奥村紀八郎ライオン、劇場映画(90分)を制作。是非この広報紙に掲載しようとしたのですが、まだまだ時期が早いとのこと。いずれ皆さんに発表されることと思います。乞うご期待!題名は「志野」。家族愛に満ちあふれた内容らしいです。コマーシャルは一切ないとのこと。